

子ども地域支援事業における感染予防対策について

R4.4 月時点

1. 当センターのスタッフが実施すること

- ・訪問前に体温測定を実施します。
- ・発熱、倦怠感等の症状があった場合は、当日であっても訪問中止の連絡をします。
- ・本人に症状が無くても、濃厚接触者もしくはその可能性がある場合、訪問を中止します。
- ・解熱後 24 時間以上経過し、呼吸器症状等がない事を確認した上で、業務に復帰します。
- ・訪問中はマスクを着用します。
- ・必要に応じて、訪問中であっても手洗いを実施します。

2. 訪問にあたってのお願い ※「密閉」「密集」「密接」にならないよう、お願いいたします。

- ・貴施設の職員及び子どもの検温をお願いします。
- ・基本的に、子どもの観察は間接的とし、直接介入はしません。
- ・給食及びお昼ご飯は子どもと一緒に食べません。別室をご準備ください。
(ご希望があれば、子どもが食べている様子を観察させていただきます。)
- ・観察後のカンファレンスは、必要最低限の人数でお願いします。
(代表のみ、もしくは3名程度まで。多くなる場合は、広い部屋での実施をお願いします。)

3. 訪問の中止基準について

以下の場合、訪問を中止させていただきます。

a. 当センターのスタッフについて

- ・訪問予定のスタッフが、PCR 検査で陽性もしくは濃厚接触者となった場合
⇒保健所等から指示された期間、訪問を中止します。
- ・訪問予定のスタッフが、PCR 検査の結果待ちの場合
⇒結果が出るまで、訪問を中止します。陰性の場合、訪問再開となります。

b. 訪問予定の施設側について

- ・施設関係者(職員、子ども、保護者など)に、陽性者もしくは濃厚接触者がいる場合
- ・施設関係者(職員、子ども、保護者など)に、保健所等からの指示で PCR 検査中の人がいる場合

4. 当センター内で陽性者が発生した場合

- ・陽性者と濃厚接触など関わりがある場合は、上記 3. a. の対応となります。
- ・当センターは職員数も多く、多数の部署があるため、陽性者と関わりが無い場合は、当センターの基準により、訪問をさせていただきます。状況により中止等となる場合は、こちらから直接ご連絡をさせていただきます。
- ・当事業を運営しているわかくさ愛育園が休園等の処置をしている場合は、訪問を中止する場合があります。